

希望を語る

2000 年 8 月発足

2025 年 12 月号

25 年の歴史を持つ患者会 “希望を語る会” ニュースレター

希望を語る会事務局：健康増進クリニック

TEL03-3237-1777 Fax03-3237-1778

www.kenkou-zoushin.com info@kenkou-zoushin.com



東京駅

撮影 M.I.

ビタミンC点滴のみが天然の抗がん剤なり

院長 水上 治

開業以来 20 年近く、ずっと超高濃度ビタミン C 点滴療法を施行してきました。はっきりしてきたのは、週に 1-2 回では癌の勢いを止める程度ですが、癌を小さくしたり消したりするには、個人差ありますが、週 3 回以上必要なことです。ビタミン C 点滴のみ毎日 3 か月で 10 センチの癌が消えた例がありますし、連日のように行えば、間違なく著効例が出てきます。

私は半世紀以上、癌の非標準治療に挑戦してきました。活性化リンパ球療法、樹状細胞ワクチン療法、遺伝子治療、さまざまな食事療法（断糖療法含む）、放射線ホルミシス療法、局所温熱療法、全身温熱療法、オゾン点滴療法、水素吸入療法、幹細胞培養上清液点滴療法、サプリメントその他です。しかし、癌細胞を直接的に破壊するのは、超高濃度ビタミン C 点滴療法のみで、ご承知のように、大量のビタミン C が体内で化学反応を起こして、過酸化水素という活性酸素を発生し、癌細胞を破壊します。通常の抗癌剤と違って、正常細胞には悪影響を与える、副作用が皆無な点が画期的です。

天然の抗癌剤ですから、生体が大量の過酸化水素に暴露されればされるほど、癌細胞はより多く死にます。ということは、1 回のグラム数が多いほど、月当たりの点滴日数が多いほど、抗がん効果が増すということです。

もちろんこの点滴は自費ですから、長期継続するのは大変ですが、私が提案するのは、最初の 1-3 か月くらい集中的に、より頻回のビタミン C 点滴を継続することです。がんの勢いが失われれば、その後早い確率でペースダウンできます。以前からお勧めしているように、当院ではビタミン C 点滴の出前も行っていますから、通院に疲れ気味でしたら、自宅での点滴もご検討ください。

2026 年はビタミン C 抗がん剤で勝負します。

VC点滴症例 (12) 60 代女性 (ご本人の投稿)

2022年 4月 乳がんの診断を受ける。

5月 健康増進クリニックを受診し、高濃度ビタミンC点滴を開始。

7月 手術。腫瘍は 1cm ほどだったが、腋窩リンパ節への転移が認められ、リンパ節郭清を行う。

11月 放射線治療を受ける。

乳がんと診断されてすぐ、健康増進クリニックを受診して、今後の治療について相談しました。手術前に高濃度ビタミンCの点滴をしておくと傷の治りが早いと聞き、点滴を開始。

手術は部分切除のため、入院は 1 週間と言われていましたが、手術時に腋窩リンパ節への転移が見つかり、リンパ節の切除も行いました。そのため、入院期間は当初の予定よりも長くなり、早くても 10 日と主治医から言い渡していました。ですが、心を開けてみると、主治医が驚くほど傷の治りが早く、1 週間で退院となったのです。ビタミンCの効果を思い知らされた出来事でした。まさに「ビタミンC恐るべし」！

手術から今年で丸 3 年がたち、半年に一度の検査で異常は認められません。

現在は 10 日に一度の頻度でビタミンCの点滴を続けています。

正直なところ、こうして元気にしている今も、再発の不安を拭い去ることはできません。でも、高濃度ビタミンCの点滴のおかげで、その不安がかなり軽減されているのも事実です。私にとって精神安定剤のような存在であることは間違ひありません。

ARAYA の独り言 「止まるな」

生を受けて育ち、学校に通い社会に出て、65歳の定年まで働く

約半世紀働くことを考えると、気が遠くなるような長い年月だと、若い時は思うが、いざ人生を歩んでいくと、日めくりカレンダーのように毎日が過ぎていく

束の間の幸せも挫折も、直ぐに過去に消え去る

気を取り直し、年齢を重ねながら新たなエネルギーを作り、前進していく

とてつもない逆風に押し戻されて転んで、後方のかなたに消えてしまう時もある

そこからまた這い上がって進む

歳を取っても、エネルギーを充電しながら、さらに前進を続ける

いつの日か、ほのかに目的地が見えてくる

いかに押し潰されずに前に進むか知恵を絞り、またエネルギーを小刻みに蓄えながら前進を続ける

天国に行くまで、このゲームは続くのだ

これを楽しいと思うか、辛いと感じるか

人生の冒険船に乗れただけでも、ラッキーではないか

2020年から健康増進のために、定期的にビタミンC点滴に通っていただいている院長と同学年のARAYA様が今年もライブを開催されました。その時のシェアされた言葉がとても素敵でしたので、掲載させていただきます。



カラーの花言葉「夢見る美しさ」「情熱」



カラー・ドラセナ・
アルストロメリア

クリスマス ラストコンサート

12月16日(火) 11:30

点滴フロアにて 点滴中に参加できます(要予約)
患者様とご家族様無料



ヴァイオリン 小池はるみ

これまで何度もお願いしましたが、リクエストに再度お応えいただきました

東京藝術大学にてヴァイオリンを海野義雄・外山滋両氏に、室内楽を巖本真理弦楽四重奏団・浅妻文樹・兎束俊之各氏に師事。

ドイツでの研鑽の後、東京ハルモニア室内オーケストラに入団し世界の著名ソリスト達と共に演奏を重ね、NHK 音楽番組にも出演。

バロックヴァイオリンを寺神戸亮・渡邊慶子両氏より学び、S・クイケン氏のマスタークラス、D.モンティ氏の即興演奏セミナー等受講。

ピアニストの姉、水上いづみと共に、2008年「GIFT」、2021年「GIFTII」をCDリリース。

ピアノ 水上いづみ

武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。

全日本学生音楽コンクールピアノ部門高校生の部でファイナリスト。



☆G 線上のアリア ☆ユーレイズミーアップ
☆小さい白いロバ ☆鳥の歌 ☆チャールダーシュ
☆アメイジンググレース 全6曲

小池はるみさんホームページは こちら→



移転のお知らせ

当院の入っている山脇ビルの全館改築計画に伴い、全テナントの立ち退きを求められ、当院は2026年2月末に移転を予定しております。移転先は、このビルに入る前にいた、すぐ近くのMG市ヶ谷ビルディング9Fです。狭くなりますが、若い先生方と一緒に再スタート致します。
これまで通りの医療もお受けいただけます。



曜日	治療時間	電話受付
月・火・木・金	9:30~16:30	9:15~16:30
休日(月2回)	9:00~14:00	8:45~14:00
※休日診療日: 12/14・12/28・1/12・1/25		

※ 12/29(月)は日曜と同様の体制で開院致します